

社会資本総合整備計画事後評価書

平成27年 3月11日

計画の名称	1 和泉市におけるみどり豊かで安全、快適な公園・緑地環境づくり		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付団体	和泉市
計画の目標			

和泉市においては、和泉市総合計画に基づき、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目標とし、その中で安らぎとうるおいを与える公園・緑地づくりを推進している。本市の総合公園である、緑豊かな松尾寺公園と、住宅密集地での防災公園の役割を担う黒鳥山公園の整備を推進するとともに、既存公園の身障者対応便所設置等のバリアフリー化を行い、市民が快適で安心して生活できる憩いの空間・環境づくりを推進していく。

計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・全市民に対する総合公園（松尾寺公園・黒鳥山公園）の一人当たり供用面積：0.81㎡/人（平成21年度末）→0.91㎡/人（平成26年度末） ・平成26年度までに、10箇所において公園施設のバリアフリー化を行い、バリアフリー化が必要な公園施設のバリアフリー化割合を0%から9.8%にする。 ・老朽化の著しい遊具のある公園の遊具を改築し、安心して遊べる公園の割合 0%（平成21年度末）→31.4%（平成26年度末） 		
------------------	--	--	--

アウトカム指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
① 全市民に対する総合公園の供用面積 / 市総人口（18万人設定）				0.81㎡/人	0.88㎡/人	0.91㎡/人				
② バリアフリー化された公園施設数 / バリアフリー化が必要な公園施設数				0.0%	5.6%	9.8%				
③ 老朽化した遊具を改築した公園数 / 老朽化した遊具の改築が必要な公園数				0%	31.4%	31.4%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	545 百万円	A	545 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C/ (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果に至った要因等を分析した。その検証結果を踏まえ今後の方針を検討するとともに、その評価に透明性、客観性、公正さを反映させるため、学識経験等を有する第三者による事後評価委員会に意見を求めた。	平成26年度 公表の方法 市ホームページにより公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業										上段：計画 下段：実績					
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	都市公園事業（黒鳥山公園）	園路・広場・休憩所等 0.7ha 園路・広場・休憩所等 0.7ha	和泉市						152 98	
1-A-2	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	都市公園事業（松尾寺公園）	園路・広場・休憩所等 1.0ha 園路・広場・休憩所等 0.2ha	和泉市						201 137	
1-A-3	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	和泉市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	鶴山台憩ヶ池公園等17箇所におけるトイレ等のバリアフリー化等 鶴山台憩ヶ池公園等17箇所におけるトイレ等のバリアフリー化等	和泉市						172 159	公園施設の改築については平成25年度まで
1-A-4	公園	一般	和泉市	直接	和泉市	和泉市公園施設長寿命化計画策定	計画策定 287箇所 計画策定 205箇所						20 16		
合計												545 410			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0 0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
													0		
													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														
1-C1															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する	<p>指標①・・・黒鳥山公園については目標達成したが、松尾寺公園は達成していないため、一人当たり利用面積の拡大が微増である。 総合公園の一人当たり供用面積 目標0.91㎡ → 実績0.87㎡ (整備面積 計画1.7ha → 実績0.9ha)</p> <p>指標②・・・公園施設のバリアフリー改修計画14施設のうち、13施設の実施となり、目標には至っていないが13施設が改修でき、利用者の利便性につながった。 公園施設のバリアフリー化 目標9.8% → 実績9.1% (改修施設数 計画14施設 → 実績13施設)</p> <p>指標③・・・老朽化した遊具の更新計画11箇所のうち、10箇所の実施となり、目標には至っていないが、遊具利用の安全性はUPした。 老朽化した遊具を改築した公園割合 目標31.4% → 実績25.7% (改築公園数 計画11公園 → 実績9公園)</p>														
交付対象事業の効果の発現状況															

II 定量的指標の達成状況	指標① (全市民に対する総合公園の一人当たり供用面積)	最終目標値	0.91㎡/人	算定式	$((7.2\text{ha}+0.7\text{ha})+(7.5\text{ha}+1.0\text{ha}))/180,000\text{人}$	目標値と実績値に差が出た要因	黒鳥山公園については開設面積0.7haの整備完了できたが、松尾寺公園については、市財政状況や、事業計画変更による、先行的な用地買収を行なったため。
		最終実績値	0.87㎡/人	算定式	$((7.2\text{ha}+0.7\text{ha})+(7.5\text{ha}+0.2\text{ha}))/180,000\text{人}$		
	指標② (公園施設のバリアフリー化割合)	最終目標値	9.8%	算定式	14施設/143施設	目標値と実績値に差が出た要因	最終年度の事業経費不足のため。
		最終実績値	9.1%	算定式	13施設/143施設		
	指標③ (老朽化した遊具を改築した公園割合)	最終目標値	31.4%	算定式	11公園/35公園	目標値と実績値に差が出た要因	公園の再編等の計画見直しの必要が生じたため。
		最終実績値	25.7%	算定式	9公園/35公園		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> 総合公園の整備においては、公園の入り口整備を行い、公園玄関口が明確化し、来園者のアクセスの利便性が向上した。また、メインエントランスや園路の整備により、歩行空間の快適性の確保が図られた。 トイレや園路等の公園施設のバリアフリー化により、施設利用時の安全性・利便性の向上が図られ、快適な施設利用が可能となった。 老朽化した遊具の改修により、利用者の安全確保と安心感の向上につながった。
---------------------------------------	---

3. 特記事項 (今後の方針等)

・都市公園事業で整備を行っている黒鳥山公園 (1-A-1)については、市街地領域の中にあり防災公園としての位置付けもあることから、今後大きな役割を果たす公園と認識しており、早期完成を目指し事業を継続していく。

また、松尾寺公園 (1-A-2)については、市街地調整区域に位置しているが、和泉中央丘陵新住宅市街地開発事業「トリヴェール和泉」開発予定地の南端に近接しており、公園近辺まで進捗している。よって、今後公園利用者の増加が見込まれることから継続して事業を行っていく。

・遊具等、老朽化した公園施設の改築等 (指標③)については、公園施設長寿命化計画 (1-A-4)に基づき、バリアフリー化 (指標②)にも配慮しながら計画的に実施していく。

(参考図面)

